令和４年 日本赤十字社 一宮市地区事業のご報告

ご あ い さ つ

日本赤十字社一宮市地区
地区長　中 野 正 康

日本赤十字社は、西南戦争における負傷者救護で初めての活動を行って以来、国内外における災害救護をはじめとし、苦しむ人を救うために幅広い分野で活動しています。

災害時の被災者救護や新型コロナウィルスなどの感染症拡大防止への対応、防災・減災の普及啓発やボランティアの育成など、日本赤十字社が行う「いのちを救うさまざまな活動」は、皆さまからの継続的なご支援に支えられています。

一宮市地区では、日赤活動資金の募集のほか、赤十字血液センターの献血バスによる献血事業の補助や、避難所用救護資材の備蓄などを進めています。
今後とも、皆さまのご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

○ご参考

1．赤十字社愛知県支部・一宮市地区の救護資材備蓄

大規模災害時に避難所の床に敷くエアーマットをはじめ、平時には各小中学校の運動会などで利用しつつ、災害時に役立つ屋外テントなどの備蓄を一宮市危機管理課と連携して進めています。

備蓄例：エアーマット 1,800 人分（市・日赤合計 8,800 人分の 20%）
屋外テント 77 張（学校保有総数 458 張の 17%）　※令和 4 年 12 月現在

2．救護活動資金等の区分

寄付金 大部分が連区・町内会からのご協力です。
※500 円以上の寄付の方は協力会員に位置付けています。

会　費 赤十字社の会員に登録を希望され、2,000 円以上ご協力いただく場合で、年 2 回広報誌をお送りします。

回覧													

令和４年 日本赤十字社一宮市地区の主な事業報告

（令和４年１月１日～令和４年12月31日）

○災害義援金等の受付

※ 受付金額は受付開始から12月末までの総額

義援金・寄附金・救援金名	受付金額(円)	受付開始日
令和３年８月大雨災害義援金	217,626	３年８月31日
令和３年長野県茅野市土石流災害義援金	177,800	〃　９月22日
ウクライナ人道危機救援金	4,676,546	４年３月10日
令和４年３月福島県沖地震災害義援金	311,896	〃年３月25日
令和４年７月大雨災害義援金（宮城県）	158,490	〃　８月16日
令和４年８月３日からの大雨災害義援金（山形県、新潟県、石川県、福井県、青森県）	174,981	〃　８月23日
令和４年台風第15号災害義援金（静岡県）	168,293	〃　10月12日
令和４年度「ＮＨＫ海外たすけあい」寄附金	19,737	〃　12月１日

【ウクライナ人道危機救援金】

ウクライナ各地で激化している戦闘により、多くの市民が緊張と不安の中で過ごしています。日本赤十字社は、ウクライナ国内及びウクライナからの避難民を受け入れる周辺国における救援活動を支援するため、海外救援金を募集しています。

これまでに79億円を超えるウクライナ人道危機救援金をお寄せいただきました。

日本赤十字社では、皆さまからのご寄付は現地へ送金するほか、物資支援、人的貢献、避難民・市民の生活支援・住居支援・医療支援などに活用しています。

ウクライナの現状や赤十字の支援活動については、日本赤十字社のウェブサイトからご確認いただくことができます。

○災害見舞（住家）　一宮市内において、全焼など被災された方々に必要に応じて物資をお届けしました。全焼７戸（被災者16人）に対して、毛布等23枚のほか、歯ブラシや、タオル・ＬＥＤ電灯・ラジオなどが入った救急セット６個をお届けしました。

また、亡くなられた３名の方のご遺族に弔慰金をお渡ししました。

○赤十字奉仕団　地域赤十字奉仕団は、「赤十字のボランティア活動を通じて地域社会に貢献したい」と思う人々によって市区町村ごとに組織されたグループです。一宮市赤十字奉仕団は、市や地域の防災訓練への参加・協力をはじめ、避難所で役立つスキルの講習などを行っています。現在、10分団（375名）が活動しています。

○市内の献血実績（令和４年）

コロナ禍により献血者数の減少が危ぶまれる中、一宮市地区の献血者数は増加しています。一宮市内には常設の献血ルームがないため、愛知県赤十字血液センターが一宮市への献血バスの配車を増加させたためです。今後も、献血バスを見かけたら、献血にご協力くださいますようお願いいたします。

	実施数（回）	参加人数（人）	採血本数（本）
令和２年	109	6,359	5,417
令和３年	113	6,404	5,534
令和４年	126	6,375	5,476

献血にご協力をおねがいします！

○献血 Q＆A

Q1：献血って何ですか？

A1：献血とは、病気や怪我で輸血を必要としている人のために、自発的に無償で血液を提供することです。日本での献血の受入れは、国（厚生労働省）から唯一、採血事業者として許可を受けている日本赤十字社が行っています。

Q2：献血した血液はどうなるの？

A2：日本赤十字社の東海北陸ブロック血液センター（瀬戸市）に送られ、検査の後、血液製剤に調製・保管し、隣接する愛知県赤十字血液センターから24時間体制で、要請があった医療機関に届けられます。

Q3：献血にはどんな種類があるの？

A3：成分献血（血小板成分献血・血漿成分献血）、全血献血（400mL献血・200mL献血）があります。

Q4：成分献血って何ですか？

A4：成分献血は成分採血装置を用いて、血液の一部を体外に出して血液中の血小板や血漿だけを採取し残りを献血者に返す方法です。体内で回復に時間のかかる赤血球は、再び体内に戻しますので身体への負担が軽く、2週間経てば献血はできます。

Q5：献血すると血液の検査結果が届くの？

A5：希望されると、7項目の生化学検査と8項目の血球計数検査の結果が約2週間で届きます。また、受付時にB型肝炎などの検査通知も希望され、異常を認めた場合には、1か月以内にお知らせが届きます。

○献血バス運行スケジュール

愛知県赤十字血液センター（℡ 0561-84-1131）にお尋ねいただくか、同センターのウェブサイトで日時と献血会場を検索できます。

令和4年度　一宮市地区会費・寄付金実績

連区名	会費	寄付金	合計(円)
宮西	3,000	975,440	978,440
貴船	2,000	1,027,550	1,029,550
神山	13,000	1,091,700	1,104,700
大志	2,000	551,050	553,050
向山	22,000	1,057,700	1,079,700
富士	10,000	766,300	776,300
葉栗	0	1,524,200	1,524,200
西成	4,000	3,774,910	3,778,910
丹陽町	3,000	2,216,700	2,219,700
浅井町	20,000	2,404,350	2,424,350
北方町	20,000	1,174,100	1,194,100
大和町	59,000	2,421,785	2,480,785
今伊勢町	56,000	2,132,700	2,188,700
奥町	6,000	901,400	907,400
萩原町	36,000	2,230,800	2,266,800
千秋町	6,000	1,975,130	1,981,130
起	5,000	287,350	292,350
小信中島	0	689,360	689,360
三条	49,000	849,030	898,030
大徳	0	557,070	557,070
朝日	5,000	960,600	965,600
開明	5,000	649,210	654,210
木曽川町	7,000	2,811,600	2,818,600
連区計	**333,000**	**33,030,035**	**33,363,035**
特別募金	法人 90,000円 個人 4,079,000円 奉仕団 244,000円		4,413,000円
合計	**37,776,035円**		

令和4年12月31日現在

コロナ禍にもかかわらず、活動資金の確保にご協力いただき、誠にありがとうございました。

令和3年度　一宮市地区費決算

○歳入の部

科目	金額
1. 県支部交付金	7,924,000
2. 雑収入	46,384
3. 繰越金	1,576,464
合計	9,546,848

○歳出の部

科目	金額
1.事務費	489,371
2.事業費	5,375,214
(1)需用費	2,447,622
(2)募金費 (うち、連区助成費)	2,190,412 (2,185,362)
(3)社員増強費	433,180
(4)協力団体助成費	304,000
3. 災害対策費 (うち、物資備蓄)	710,971 (374,000)
4. 災害等資金積立金	1,500,000
合計	8,075,556

単位:円

皆様からお寄せいただいた左の表の活動資金(会費・寄付金)は、全額を愛知県支部に送金しました。

一宮市地区では、県支部からの交付金等を収入として、地区事業を進めています。

日本赤十字社一宮市地区
一宮市栄3丁目1番2号
☎ 73-0696